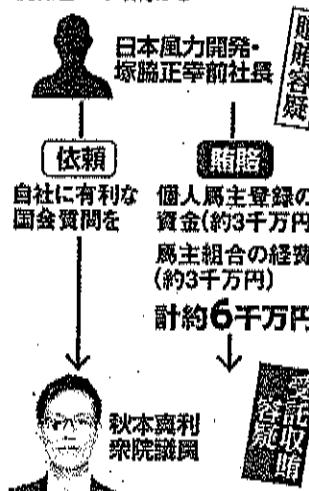


9/11
朝日

秋本議員逮捕へ

洋上風力発電事業をめぐる
汚職事件の構図

関係者への取材から



適用する罪名は、同社の事業参入に有利な国会質問をしてほしいという依頼（請託）と、質問の見返りに受領した謝礼の趣旨が明確になつたとして、8月の家宅捜索時の単純収賄から受託収賄に切り替える方針だ。同社の塚脇正幸前社長（64）についても、在宅のまま贈賄容疑で調べる。

秋本真利衆院議員（48）は比例南関東、自民党を離党し、が洋上風力発電事業をめぐって「日本風力開発」（東京）の前社長から多額の資金を受け取ったとされる事件で、東京地検特捜部は7日にも、秋本氏を総額約6千万円の受託収賄容疑で逮捕する方針を固めた。競走馬の馬主組合の経費として受領した約3千万円に加え、中央競馬の個人馬主に登録する際に借りた約3千万円も賄賂と判断した。関係者への取材でわかった。

適用する罪名は、同社の事業参入に有利な国会質問をしてほしいという依頼（請託）と、質問の見返りに受領した謝礼の趣旨が明確になつたとして、8月の家宅捜索時の単純収賄から受託収賄に切り替える方針だ。同社の塚脇正幸前社長（64）についても、在宅のまま贈

関係者によると、同社は再エネ海域利用法に基づく政府の洋上風力発電事業について、青森県の「陸奥湾」区域への参入を目指す。秋本氏は2019年2月の衆院予算委員会分科会で、青森県の海域を対象に、発電設備が防衛施設に与える影響を理由に「過度な規制」をかけないよう求めた。

同年7月、秋本氏は日本中央競馬会の個人馬主に登録したが、登録には7500万円以上の資産が必要で、約3千万円を塚脇氏から一時的に借りたという。さりに21年秋、秋本氏は塚脇氏側と競走馬を保有する馬主組合を共同で設立。塚脇氏は23年までに、馬の購入費や飼育費として計約3千万円を提供した。このうち約2千万円は組合の取引先の口座に送金し、1千万円は秋本氏の議員会館事務所で現金で渡したという。

秋本氏は22年2月の同分科会では、同社も入札に参加した別の海域を二

6000万円受託収賄疑惑、 風力社長かの国会質問見返りか

東京地検特捜部

議事録が圧倒的に安い発電価格で落札したことを受け、事業計画の迅速性も重視する形に審査基準を見直すよう求めた。特捜部は、馬主登録の際の約3千万円も、馬主組合への約3千万円も、塚脇氏の依頼を受けて同社の事業参入を後押しする国会質問を継続してきた謝礼の趣旨が含まれると判断。馬主組合について、秋本氏が実質管理しており、提供資金は秋本氏個人への資金とみて調べている。

任官聽取に対し、塚脇氏は国会質問の謝礼という賄賂性を認めた。秋本氏は「あくまで馬の資金」と説明し、国会質問との関連を否定した。秋本氏は社長を辞任した。

秋本氏は当選4回。捜査を受けて外務政務官を辞任し、離党した。塚脇氏は社長を辞任した。